

あさのちゃんねる

vol.25

2018年 春号
(年4回発行)

特集

「脳卒中は 迅速な対応が鉄則！ 正しく理解する脳神経の病気」

脳神経センター長 廣瀬 医師 インタビュー



連携登録医 のご紹介

おおくぼ眼科クリニック

院長 大久保 真司 先生



ほかほかと暖かい
季節になってきました！

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

- 【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。
- 【救急医療】断らない救急医療を目指します。
- 【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。
- 【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。
- 【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

特集

脳神経センター長インタビュー

脳卒中は 迅速な対応が鉄則！ 正しく理解する脳神経の病気

脳神経センター長である廣瀬源二郎医師は多くの難治症例を完治へと導き、「2018年版国民のための名医ランキング」にも選ばれています。脳神経疾患の症状や治療法についてお話を伺いました。



脳神経内科と脳神経外科が 共同で診療する脳神経センター

人の身体には脳、脊髄、末梢神経、筋肉からなる神経系があり、それらが情報を伝達することによって運動したり、考えたり、しゃべったり、ものを見たりすることができます。神経系の病気を扱う科には脳神経内科と脳神経外科があり、外科的手術を行う脳神経外科に対し、脳神経内科では薬による治療やリハビリテーションで回復を目指します。脳神経内科はよく精神科と混同されることがありますが、うつ病や統合失調症など心の病気を扱う精神科とは専門領域が異なります。脳神経内科の対象となる疾患は脳卒中やめまい、てんかん、パーキンソン病、認知症などで、高齢の患者さんが多いのが特徴です。当院の脳神経センターは、脳神経内科と脳神経外科の協力体制のもと情報を共有しながら診療をしています。専門医の知恵を結集させたフレキシブルな体制は患者さんにとってメリットが大きいと思います。病棟も同階にあり、内科と外科双方の視点で検討と治療をしています。

迅速な治療が求められる 脳梗塞やくも膜下出血

脳神経疾患の代表的な病気に、脳卒中があります。「卒」は「前触れなく急に」、「中」は「あたること」をあらわし、「脳

顧問・脳神経センター長・てんかんセンター長

ひろせ げんじろう

廣瀬 源二郎

日本神経学会専門医・指導医
日本神経学会神経内科専門医
日本脳卒中学会専門医
日本てんかん学会専門医
日本内科学会認定内科医

趣味

写真撮影、クラシック音楽鑑賞、釣り、テニス

座右の銘

「道無二真」物の道理に二つの真実はなく、一つだけ

診察日

〈脳神経内科〉初診／月・水曜 再診／木曜

が急に何かにあたること、病気になること」を意味します。脳卒中はいくつかの病気に分類され、簡単に説明すると、脳の外側の血管が破れるのが「くも膜下出血」、脳の内部の血管が破れるのが「脳内出血」、脳の血管が詰まるのが「脳梗塞」です。中でも症例が多いのが、動脈硬化が進行してきた血栓が詰まって発症する脳梗塞です。ろれつが回らない、片側の手足がしびれる、片方の目が見えなくなる、強いめまいといった症状が急に起こった場合、脳梗塞が疑われるため、すぐに病院を受診してください。脳神経内科では、脳の細胞が死んでしまう前に、投薬で血栓を溶かす治療を行います。この治療は3時間以内、遅くとも4時間以内に行うことで効果が高まり、数カ月のリハビリテーションを経て普通の生活を取り戻す方がたくさんいます。くも膜下出血は激しい頭痛や吐き気などの症状が特徴です。緊急手術が必要なため、脳神経外科で治療を行います。いずれのケースでも、脳卒中は迅速な治療が鉄則です。これまで経験したことがない強い頭痛やめまい、意識障害などの症状が出た場合、迷わず救急車を呼んでください。また、脳卒中は生活習慣とも関わっています。日ごろから適度な運動、肥満にならない健康的な食生活、血圧の管理を心がけ、予防することも大切です。



めまいやてんかんなど 脳神経疾患の症状と治療

「天井がぐるぐる回るようなめまい」や「自分の身体が回っているようなめまい」も脳神経の病気が疑われます。めまいには脳から発生するものと耳から発生するものがあります。メニエール病や前庭神経炎などは、耳の奥にある三半規管や耳石が原因で起こり、耳鼻科が担当しますが、脳幹に原因がある場合は脳神経内科の領域です。脳卒中が原因で強いめまいが続く場合もあるので、軽く考えずに病院を受診してください。

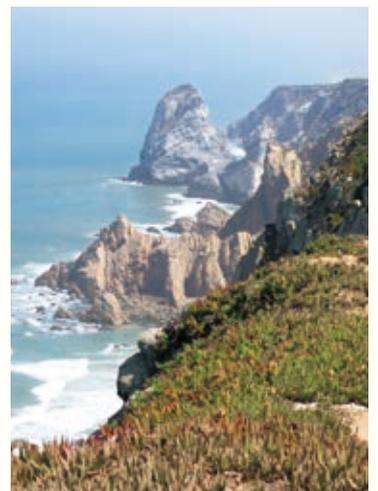
パーキンソン病は、手足が震える、動作が緩慢になる、身体がこわばる、突進歩行してしまうといった症状が特徴です。残念ながら根本的な原因は解明されていませんが、ドパミンという神経伝達物質が不足して発症することがわかっています。そのため、脳内でドパミンに変化するレボドパというお薬を補う治療が有効です。

てんかんは、脳内の神経細胞に流れる電気信号が何らかの原因で過剰になってしまう病気です。過剰な電気信号により身体のコントロールが効かなくなり、けいれんなどの発作が起こります。治療法としては、数年間、抗てんかん薬を服薬して発作を起こりにくくします。約2年間の服薬で効果が出ない場合は、過剰な電気信号を出す脳の部分を外科的に取り除く手術を行うことで軽快・完治することもあります。

認知症は脳内で記憶をつかさどる海馬という部位が破壊されることから始まります。他の病気が進行して認知症を併発する場合もあるため、何が原因か、どの程度進行しているかを見極め、薬で進行を遅らせます。

病歴や症状を詳しく聞き、 病気の原因をつきとめる

私は医学生が使う教科書の執筆もしていますが、その中で患者さんの病歴のとり方、症状の診方の極意を伝えています。病歴と症状を正しく把握することで病気の原因に早くたどりつけ、個々に合った適切な治療計画を立てることができます。画像診断や電気生理学的検査はあくまで補助的手段にすぎません。患者さんから得た情報から正しい診断ができる良い医者になるためには、多くの病気、症状を把握していることも重要です。次の世代の医師たちに、そのことを伝えられればと思っています。脳神経の慢性的な病気には完治が難しいものもありますが、適切な治療によってうまくつきあっていけるものもあります。医療の進歩は目覚ましく、今は完治が難しくても、この先、特効薬や治療法が開発される病気も多く出てくるでしょう。私たちがサポートしますので、希望をもって治療を続け、自分らしく生きてください。



趣味で撮影したロカ岬の写真



神経内科ってどんなところ!?

※6月1日より、神経内科は**脳神経内科**と名称が変わります



当院では脳神経センターで神経内科と脳神経外科の診療を行っています。

脳は全身の手足を動かしたり、言葉を話したり、記憶するための神経が集まっている大事な場所です。

神経内科は脳そのものや、脳の血管に病気があり、脳からの命令がうまくいかないことで起こるいろいろな病気を診断して治療する科です。

主な病気として、脳卒中・頭痛・てんかん・パーキンソン病・認知症などがあります。



突然、片側の手足が動きにくくなった、ろれつが回らなくなった時は、
脳卒中の疑いがあります。すぐに受診しましょう(受診前にご相談ください)。



頭痛にもいろいろなタイプがあり、症状によってお薬の種類や飲み方が違いますので、神経内科にご相談ください。



めまい・ふらつきには耳から起こるもの、脳から起こるもの、全身の異常によって起こるものがあります。めまい・ふらつき以外に、ろれつが回らない、物が二重に見えたり、まっすぐ歩けない、顔や手足がしびれるなどの症状がある時は神経内科へお越しください。



物忘れ・認知症が心配な方は、ご家族の方と一緒に受診されることをおすすめします。周りの方から見た様子などもお伺いします。まず、受診していただき、詳しい検査は後日予約をして行います。



ふるえ・けいれんには、さまざまな病気が隠れていることがあります。どんな時に起こるか、どこがどんな風にふるえるのか、どのくらい続くのか、なるべく詳しくお伝えいただくと診断の手助けになります。

受付時間

月～土曜日 8:30～11:00 ※午前だけの診察となっております

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市小坂町の

『おおくぼ眼科クリニック』をご紹介します。

平成27年、おおくぼ眼科クリニックを開業致しました。
金沢大学附属病院在職中は、緑内障の画像診断および視野解析、早期発見・管理を中心とした臨床および臨床研究と神経眼科診療を中心に行っていました。

現在も木曜日の午後に金沢大学附属病院で緑内障および神経眼科の専門外来を担当させて頂いています。

現在は、専門としています緑内障や神経眼科に加えて、地域医療に貢献すべくあらゆる疾患に対応しております。しかし、当然クリニックで対応できることには限りがありますので、状態に応じてその分野で自分が考える最高の医療を提供して頂ける施設や先生にご紹介させて頂いています。

浅ノ川総合病院さんにはいつも迅速に素晴らしい対応をして頂いており、大変感謝しております。

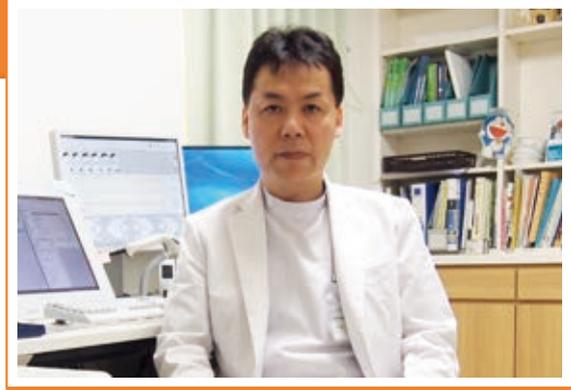
今後とも専門分野での活動を行いつつ、連携を深めて地域医療に貢献したいと考えております。



クリニック外観

連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



院長 大久保 真司 先生

おおくぼ眼科クリニック

診療科：眼科

専門領域：緑内障、神経眼科

略歴：富山県高岡市出身

島根医科大学卒業、金沢大学眼科学教室を経て、平成27年 金沢市小坂町に開業。

役職など：金沢大学医薬保健研究域医学系 眼科学 臨床教授 (学外)、日本緑内障学会評議員、日本視野学会評議員 (幹事)、日本神経眼科学会評議員、日本神経眼科学会上級相談医、第7回日本視野学会学術集会会長 (2018年5月)

診療時間

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 14:30~18:00 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | / | / |

※土曜日のみ9:00～13:00

※受付は診療終了の15分前までをお願いいたします。

休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所：〒920-0811

金沢市小坂町西97番地1

電話：076-251-2112

駐車場：あり

アクセス：

〈電車〉IR東金沢駅を下車して徒歩3分(東金沢駅東口バス停前)

〈バス〉小坂町バス停で下車して徒歩7分

(北鉄金沢バス82/32/84、西日本JRバス名金線ほか)

東金沢駅東口バス停で下車(北鉄金沢バス83、88/89)

東金沢駅バス停で下車して徒歩3分(北鉄金沢バス33)



本館7階病棟は急性期病棟です。内科を中心とした一般病床、特別室、一泊人間ドックと多岐にわたります。

内科的な疾患はもちろんですが、特別室には外科系患者さんも多く、手術患者さんへの対応も求められるため、ベテランスタッフを中心に若いスタッフも頑張っています。今年度は、4月から新たに5名のスタッフを迎え、看護師29名、看護補助者4名、

計33名でのスタートになりました。本館7階病棟の良いところはチームワークです。患者さんが安心して入院生活が送れるように、スタッフみんなで頑張っています。

病棟患者さんの多くは、肺炎や心疾患、終末期患者などの高齢者がほとんどです。高齢化社会に入り、入院患者さんの抱える問題も年々深刻となる傾向にあります。一人暮らしや家族介護力の問題なども増えています。そんな中で、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、栄養士との連携、問題解決に向けての話し合いや、時には地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟といった他病棟と、患者さんや家族が安心して過ごせるように連携しています。

7階は病院の最上階です。周囲に高い建物がなく遠くまで見えるため見晴らしがよいです。デイルームでは、患者さんが家族と一緒に新幹線を見ながら食事をしている場面を見かけます。いつもより食事が進み、嬉しそうな患者さんをみると、私たちもうれしい気持ちになり、早く退院させてあげたいと思います。治療の中では安静が必要な場合もありますが、少しでも患者さんの不安や苦痛を最小限にとどめ、安全・安楽に過ごせる環境づくり、患者さんや家族の希望に沿った看護の提供、早期退院ができるように努力していきます。

これからも、患者さんの声に耳を傾け、思いに寄り添い、患者さんが笑顔になれる病棟になるように、スタッフと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

看護師長 中市 智恵



新任医師紹介

今年4月から赴任された
医師を紹介します！



内科

あさか ひろゆき
浅香 裕之

専門は内分泌・代謝領域で、その中でも特に糖尿病です。宜しく
お願いいたします。

専門分野 / 内分泌代謝



内科

かむろ あきひと
禿 晃仁

不慣れた土地、環境に戸惑う点多々ありますが、地域に貢献できる
よう努力したいと思っておりますので、よろしく
お願いします。

専門分野 / 消化器内科



内科

くぼた りゅういち
久保田 龍一

患者さんの苦痛を理解できる
医師を目指しています。よろしく
お願いします。

専門分野 / 消化器全般



腎臓
内科

まつうら としかず
松浦 寿一

地域医療に少しでも貢献できる
よう頑張ります。よろしく
お願いします。

専門分野 / 腎臓

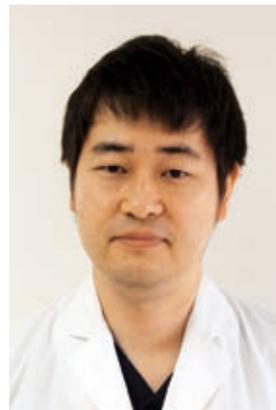


腎臓
内科

くまの しょう
熊野 奨

専門は腎臓ですがいち内科として
幅広く対応できる様な医者を
目指しています。よろしく
お願い申し上げます。

専門分野 / 腎臓



脳神経
外科

なんぶ いく
南部 育

5年ぶりに浅ノ川総合病院勤務
となりました。アクティブに働
いていきたいと思っております、よろしく
お願いします。

専門分野 / 脳血管障害、脳腫瘍



麻酔科
(人工呼吸
センター)

まつもと たいさく
松本 泰作

5年ぶりに勤務させていただきま
す。単身赴任だったため、横方向
に大きくなりました。家のワンコ
(ペキニーズ)に毎日吠えられて
います。よろしく
お願いします。

専門分野 / 呼吸不全



麻酔科

ひろさき さえこ
廣崎 早江子

安心、安全な麻酔を提供する事が
できるよう精一杯頑張りますので、
よろしく
お願いします。

専門分野 / 手術麻酔

行事レポート

平成30年度 入職式・新入職員研修

平成30年4月2日、桜の咲き誇る中、当院の入職式が行われました。総勢38名の新しい職員は、小市理事長から告示を、荒木病院長から訓示を受けました。そして新入職員からは頼もしい宣誓が行われ、医療人としての一步を踏み出しました。

その後の研修では、当院の理念・方針、病院の概要紹介からはじまり、就業規則、各部門紹介、医療情報システムの説明、施設基準・診療報酬、地域連携、医療安全、感染対策、接遇研修、臨床倫理など病院・医療業界で働くための大切な知識を学びました。

コミュニケーションランチや、グループワークでは積極的に討論が行われ、同期同士、親睦を深めました。次代の医療を担う新しい風に期待しています！



お知らせ

✿ 「看護職と看護学生のための就職情報交換会」に当院が参加します。

平成30年5月26日(土) 13:00 ~ 16:00 石川県地場産業振興センター 本館1F 大ホール

✿ 創立記念日休診のお知らせ

平成30年6月1日(金)は創立記念日につき、外来診療を休診いたします。(救急受診の場合は救急外来で対応します)

✿ 診療科名称変更のお知らせ

平成30年6月1日(金)より、「神経内科」が「脳神経内科」へと名称変更となります。診療体制の変更はございません。

✿ 「第10回定位放射線治療セミナー」を開催します。

平成30年6月29日(金) 19:00 ~ 金沢ニューグランドホテル 5F 銀扇

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.jp